

- ・ 株式や投資信託などの金融商品で運用する
 - ・ 不動産で運用する
- といった様々な方法があります。

この中で多くの方になじみのあるのは、銀行にお金を預ける方法です。

そこで今回は、資産運用をするのに、言いかえれば、お金を貯めていく方法として、銀行に預金するだけ良いという立場で考えてみることにしました。

預金するメリット

まず、銀行にお金を預けるメリットを考えてみます。

すでに 20 年くらい前になります。2000 年ごろまでは、銀行にお金を預ければ、黙っていてもお金が働いてくれました。当時の利息は高い時には、銀行によっては年利 6.0% くらいあり、預けておくだけで利息分の収益を得ることができたのです。

その後は、年々利率は低下していき、現在、銀行にお金を預けるときの利率は、銀行ごとに違いますが、普通預金では、年利 0.001% くらい定期預金では、年利 0.002% くらいです。

銀行ごとのキャンペーンに預けて、優遇金利が適用されたとしても、その恩恵として貯まる金額は、預金するメリットといえる金額か、疑問を持つところです。

従って、現在の金利面ので、銀行にお金を預けるメリットがあるとは、言い難いところがあります。

ただ、金利の面以外で、

銀行に自分のお金を預けるメリットはあります。

ペイオフといって、
万が一、銀行が破たんしたとき、
ひとつの金融機関（銀行）ごとに預金者1人当たり
元本1,000万円までと銀行の破綻日までの利息等が、
保護される制度で、
私たちの預金は守られているのです。

言いかえれば、各銀行に1000万円までは、
預けてご自身のお金（現在では、
利息はほとんど気付ませないので元本）が、
保護されているということです。

また、ご自宅にタンス預金をして、
お金を貯めていても良いのですが、
もし、盗難の被害にあっても、
誰も補償してくれません。

しかし、銀行に預けておけば、
セキュリティーの面でも安全だと言えます。

これらは、
銀行に預金するメリットといえます。

ちりも積もれば結構貯まる

また、上記でペイオフの話をしました、
銀行に毎月5万円ずつ預金をしていけば、
現在利息はほとんど付きませんので、
単純にたし算をして、
1年間で60万円
10年間で600万円
20年間で1200万円貯まり、
預金額が1000万円を超えます。

預金の総額が、
ひとつの銀行で1000万円を超えるようであれば、
上記のペイオフの制度で、
複数の銀行に、
分けてお金を貯めていくことになります。

もっとも、ただ闇雲に貯めるのではなく、

- ・住宅購入の頭金用
- ・子どもの教育資金用
- ・旅行代金用

といった、目的を持って貯めていって、その目的のために使うことです。

使ったら、また次の目標を決めて、貯めていくというように、

目的を持って貯める、貯めたお金を目的のために使う。

この循環を繰り返すことで、目的のためにお金を貯めることができ、

たとえまとまったお金が貯まったとしても、使う目的があるので、衝動買いといった無駄に使うことは、避けることができるでしょう。

預金するデメリット

次に、預金するデメリットです。

一定の金額まで元本が保証されていればよい、という方には、預金するデメリットは、ペイオフ以外はないかもしれません。

確かに、現在の預金では利息がほとんどなく、預けた元本の金額が単純に貯まるだけです。

株式や投資信託で運用するようには、お金はできないかもしれません。

しかし、株式や投資信託で運用する資金の元本は、保証されていませんが、預金する資金の元本は、一行につき 1000 万円まで保護されています。

金融商品で運用したらどうなる

ちなみに株式や投資信託で運用した場合の
収益のシミュレーションをしてみます。

つまり、毎月5万円ずつ1年間、
年利1%で運用できたとすると、
収益が3,245円になります。

同様に3%で運用できたとすると、
収益が9,706円になります。

同様に7%で運用できたとすると、
収益が22,515円になります。

次に、毎月5万円ずつ10年間、
年利1%で運用できたとすると、
収益が311,278円になります。

同様に3%で運用できたとすると、
収益が989,596円になります。

同様に7%で運用できたとすると、
収益が2,600,944円になります。

最後に、毎月5万円ずつ20年間、
年利1%で運用できたとすると、
収益が1,282,855円になります。

同様に3%で運用できたとすると、
収益が4,383,028円になります。

同様に7%で運用できたとすると、
収益が13,520,303円になります。

これらの収益には、
約20%の税金がかかります。

ここまで何のために計算したのか？

その理由は、
この後の章でお話いたします。

リスクを考える

上記の収益の計算例で、
単に銀行に預金するよりも、
金融商品で運用した方が、
単純に良いと思うかもしれません。

しかし、上記で算出した収益は、
世の中の景気の動向などのよって、
収益と同じような金額の損失を
もたらすこともあります。

つまり、収益の金額と同額、
損をするかもしれない、ということです。

この収益と損失の額のブレの範囲を
「リスク」といいます。

従って、収益が高く見込める金融商品ほど、
損失する可能性もあり、
ハイリターン（収益）ハイリスクの商品
といわれます。

預金だけでも大丈夫？

ここまでお話をしますと、
・ならば銀行の預金だけ貯める
・少しは金融商品に挑戦してみようかな
と、その方の考え方によって、
意見が分かれることです。

預金だけで大丈夫という方には、
以下は必要のない話になります。

念のために、
金融商品で、資産を増やせる収益を上げるには、
収益からの納税額を差し引いても、
また、損失するリスクを考慮しても、
投資する資金が、銀行に預金して
貯めた金額を上回る金額になるように、
金融商品を運用しなくてはなりません。

従って、

相当まとまった資金と運用の知識も必要だ。
ということです。

*:

■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

*:

お金の貯め方は、

その人の考え方と経験を尊重するのが一番！

*:**:

■人生の添乗員 (R) 牧野寿和のプロフィール

*:**:

日本で唯一「人生の添乗員 (R)」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

創業 18 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ (FP) 協会 CFP (R) 認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士 (資産設計提案業務)

「私 20 万円損していますので、
80 万円のほかに私が損している分の
20 万円下さい」
とは言えないのです。

このはなしあなたには、

常識ですか？
初耳ですか？

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町 2 - 8 6

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野 FP 事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関するトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
